

# 財団法人日本バレーボール協会 第 196 回理事会 議事録

日 時：平成 19 年 10 月 12 日(金) 14:00～15:00

会 場：パレスホテル(東京・千代田区)

出席者：立木会長、橋爪・中野・丸山各副会長、山岸専務理事、萩原・下山・岩満各常務理事、山本・倉橋・三屋・岩井・清水・中島・小場各理事、大久保監事

欠席者：成田・不老常務理事、竹内理事、ゼッターランド理事、岡崎・高橋監事

陪席者：原正雄弁護士・小島・五十嵐・三浦・小田桐・斎藤・中野・平澤(事務局)

理事総数 19 名、うち出席 15 名、委任 4 名で寄附行為第 28 条に基づき理事会が成立。議事録署人に岩満常務理事、山本理事を指名。14 時 00 分、立木会長を議長に議事に入る。

## <報告事項>

### 1. 平成 19 年度上半期予算進捗状況

(山岸専務理事・業務推進事業本部本部長) 資料により説明。

平成 19 年度上半期の予算進捗状況だが、収入は予算額 35 億 5,300 万円に対して 29.6%にあたる 10 億 5,100 万が計上済み、支出は予算額 35 億 5,300 万円に対して、23.0%にあたる 8 億 1,700 万円が支出済みである。上半期終了時点の収支差額は 2 億 3,500 万円のプラスだが、収入のなかに FIVB からのワールドカップ開催運営受託料 1 億 9,800 円があり、これは下期の支出に充当する資金である。この要素を除けば、ほぼ想定内の収支状況である。JVA は例年、実施事業要件から下期に収支とも集中する傾向があるので、上半期終了時点で収入 29.6%、支出 23.0%の進捗率も想定内と考えている。

以上のおり資料に基づき趣旨説明があり、理事会は平成 19 年度上半期予算進捗状況について諮り、異議なく了解。

### 2. 各事業本部中間報告

#### 〔1〕 業務推進事業本部

(山岸専務理事・業務推進事業本部本部長) 資料により説明。

\* 寄附行為改定案の一部変更について…文部科学省より第 195 回理事会案に関して、役員数が一挙に増えることについて指摘を受けている。そこで寄附行為上の役員は理事会メンバーとし、執行役員会メンバーは理事会で選任する役員として執行役員会規程により処遇、業務内容ほかを明記する方向で検討を行った。

\*MRS プロジェクト…※詳細は資料に記載した通り。

\*80周年記念事業…現在進捗なし。

## 〔2〕 強化事業本部

(萩原常務理事・強化事業本部本部長) 資料により説明。

\*第14回アジア選手権男女結果報告…女子大会(9月5日～13日、タイ・ナコンラチャシマ)、日本は24年ぶり3度目の優勝。男子大会(9月日～日、インドネシア・ジャカルタ)日本は2位で大会連覇を逃した。この経験をワールドカップに向けて更なるチームの強化につなげていく。

\*ユニバーシアード男女結果…8月2日～19日、タイ・バンコク開催。女子は5位、男子は11位。世界の上位チームと良い戦いをし、今後強化していけば世界と戦えるチームになる。

\*第4回バレーボールアカデミー・トライアウト報告…応募者36名、内合格者8名。

## 〔3〕 国際事業本部

(下山常務理事・国際事業本部本部長) 資料により説明。

\*FIVB ワールドリーグ・ワールドグランプリ日本開催報告…ワールドリーグは、小牧、熊本、東京で開催され、小牧、熊本ともにほぼ満員の観客動員数だった。ワールドグランプリは、東京、大阪で開催され、3週とも土日には満員の観客動員数、最高視聴率13.7%を記録した。

\*FIVB ワールドカップ2007…競技日程、対戦カード決定。※詳細は資料に記載。

\*2016年東京オリンピック招致…代々木競技場の裏に観客1万人を収容できる競技場建設が検討されている。FIVBよりオリンピック開催時、2会場必要と意見があったため引き続き検討中。

## 〔5〕 国内事業本部

(成田常務理事・国内事業本部本部長欠席のため山岸専務理事より説明)資料により説明。

MRS 個人登録システムについては定期的に運営面の会議を開催し、次年度の対応とファンカテゴリー拡大の検討を行った。指導普及委員会では日体協公認指導者の養成(公認コーチ養成講習会、公認上級コーチ養成講習会等)を行った。※その他詳細は資料に記載の通り。

## 〔6〕 FIVB 各委員会報告

※詳細は資料に記載の通り。

以上のおり資料に基づき趣旨説明があり、理事会は各事業本部中間報告について諮り、異議なく了解。

## ＜審議事項＞

### 1. 寄附行為改定案の一部変更について

(山岸専務理事・業務推進事業本部本部長) 資料により説明。

文部科学省より第195回理事会案に関して、役員数が一挙に増えることについて指摘を受けている。そこで寄附行為上の役員は理事会メンバーとし、執行役員会メンバーは理事会で選任する役員として執行役員会規程により処遇、業務内容ほかを明記する方向にした。

以上のおおりに資料に基づき趣旨説明があり、理事会は寄附行為改定案の一部変更について諮り、異議なく承認。

### 2. Vプレミアリーグチーム選手の肖像利用について

(岩満常務理事・M&M事業本部本部長) より説明。

Vリーグ機構登録チームのスタッフ・選手の肖像使用に関して、非営利を目的としたもの、および、営利を目的とした商品化事業については、一部の例外を除き、その管理をチームが行うものとし、無償にてチームが使用できるように改定したい。

以上のおおりに趣旨説明があり、理事会はVプレミアリーグの肖像使用について諮り、異議なく承認。

### 3. 平成20年度国際事業本部事業計画について

(下山常務理事・国際事業本部本部長) 資料により説明。

オリンピック最終予選女子大会を5月17日(土)～5月25日(日)、男子大会を5月31日(土)～6月8日(日)に開催。ワールドリーグを6月28日・29日、7月5日・6日、7月19日・20日に開催。ワールドグランプリを6月20日～22日、7月9日～13日に開催。

※詳細は資料に記載した通り。

以上のおおりに資料に基づき趣旨説明があり、理事会は平成20年度国際事業本部の各大会開催計画について諮り、異議なく承認。

以上で全議事を終了、15時00分閉会。